



元気いっぱい湯野っ子



避難訓練



11月29日(金)に全学年、自分の学年の教室ではなく、体育館や音楽室、理科室など特別教室で授業をしていた時に、家庭科室より火災が発生し、校舎内に燃え広がる恐れがあるという想定での避難訓練を実施しました。子どもたちは、火災報知機のベルが鳴った時、慌てることもなく、放送や近くにいる教師の指示を落ち着いて聞いて、安全に校庭に避難することができました。火災にかかわる避難の際には、煙や目に見えない有毒ガスを吸うのが一番危険なので、ハンカチ等で口や鼻を覆ったり、できるだけ声を出さないようにして呼吸数を減らしたりして、有毒なガスをできるだけ吸い込まないようにすることが大切だということを伝えました。また、いざという時には、放送を立ち止まって聞いたり、近くの大人の方の指示をよく聞いたりすることが大切であること、「自分の命は自分で守る」行動をとることの大切さを伝えました。消防署の方からも、いざというときどうしたらいいのか、日頃からおうちの人とも話し合っておくことが大切だとのお話をいただきました。

避難訓練の後、消防署の方のご指導のもと、教職員による初期消火活動の訓練も行いました。こちらについても、日頃から、消火器のある場所を確認しておくこと、操作方法をシュミレーションしておくことが大切であるとの助言をいただきました。いざという時に、慌てないで行動できるようにしておくことの大切さを改めて確認いたしました。

防災教室



11月29日(金)の避難訓練の後、福島市危機管理室の方を講師に、防災教室を実施いたしました。4～6年生は、いざというときに役立つ防災グッズについて、ジェスチャーゲームを通して楽しみながら学ぶことができました。1～3年生は災害が起きた時のより良い行動について、クイズを通して学ぶことができました。さらに、アルファ米をお湯で戻して試食することも体験しました。今回の経験を通して、災害時には、防災グッズや非常食が役立つことを実感することができました。ご家庭でも、子どもたちとの話し合いを通して、防災グッズや非常食を備えるきっかけとなるとよいと思いました。

お願い

数週間前の日中の気温の高さがうそのように、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。それに伴って、子どもたちも登下校時に防寒着を着たり手袋を着用するようになってきました。寒くない服装をすることは、風邪や病気の予防につながります。また、手袋を着用してポケットに手を入れず両手を使えるようにしておくことは、けがの予防にもつながります。気温にあった服装と、手袋の着用について、ご家庭でもお声がけください。



※ 子どもたちの様子を毎日更新してアップしておりますので、湯野小HPのブログもぜひご覧ください。学校だよりもカラーで掲載しています。

福島市小・中・特別支援学校ポータルサイト <https://fukushima.fcs.ed.jp/> 湯野小学校

QRコードはこちら→



※ 子どもたちの様子を毎日更新してアップしておりますので、湯野小HPのブログも
ぜひご覧ください。学校だよりもカラーで掲載しています。

福島市小・中・特別支援学校ポータルサイト <https://fukushima.fcs.ed.jp/湯野小学校> QRコードはこちら→